

令和3年度 第3回学校運営協議会 議事録（案）

日 時：令和3年3月12日（土） 14:00～16:00

場 所：大阪府立布施北高等学校 展開1教室

出席者：高田克己様、中西進泰様、菊地栄治様、塚本佳秀様、浅岡美和様、西村芳世様
校長、教頭(2人)、事務長、首席(2人)、教諭(2人)

1. 会長および校長あいさつ

2. 協議

（学校より）

・「令和3年度学校教育自己診断」の結果について説明

（ご意見等）

- ・学校に対する教員の評価が急激に落ち込んでいる。この点については大きな問題ではないか。
- ・教員の評価が低いことは気になるが、それは一方で真摯に学校と向き合っているということではないか。
- ・デュアル実習などがコロナで実施できず、また学校行事も開催できずで、地域の繋がりを感じられないのは仕方がないのではないか。
- ・厳しい結果が出ている項目もあるが、コロナ禍であることなども影響しているのではないか。だからこそ、次年度以降の課題として、取り組むきっかけにしていけばよい。

（学校より）

・「令和3年度総合学科・3年次末アンケート」の結果について説明

・「令和3年度学校経営計画及び学校評価」、「令和4年度学校経営計画」について説明

（ご意見等）

- ・1年生のインターンシップをより充実させ、本校の強みにしてほしい。例えば、製造業など馴染みのない業種を1年生から体験させることが、生徒のこれからの人生で大きな力になるのではないか。
- ・仕事の厳しさや大変さを、実習を通して実感することが、進路選択をする上で重要ではないか。高校生のうちにしかできないことを、生徒に体験させてほしい。
- ・卒業後のフォローもしっかりしてほしい。卒業後に拠り所となる場所があることで、社会で自信を持って歩んでいくことができるのではないかと思う。
- ・エンパワ、デュアル、多文化の三本柱で「面倒見のいい」布施北のアイデンティティを確立してほしい。

3. 意見交換：【令和4年度の布施北高校～魅力ある学校づくり～】

（ご意見等）

- ・コロナウイルスが蔓延することで、学校行事が軒並み中止・延期となっている。次年度はなんとかすべての学校行事を実施してほしい。ひいてはそれが学校の魅力につながる。
- ・新たに継ぎ足すのではなく、今ある資源をいかに使い、充実させていくのかを考えていき、若い先生が中心となって学校を盛り上げてほしい。
- ・ホームページの充実、タブレット端末の活用等どんどん良くなっている部分は多くある。
- ・身近に感じられる情報発信や学校の魅力を肌で感じられる機会を大切に、積極的にそのようなことに取り組みたい。

4. その他

『デュアルシステムの持続的発展を支える布施北高校地域共同本部』について

- ・教員は「自ら」動くことが多い。地域共同本部という形で結実しているからこそ、教員側から地域への投げかけをしてもらいたい。一緒にやっていければと考えている。

5. 今後の予定等、諸連絡